

添付資料②

「避難所体験会」概要

09：30～10：00 模擬避難所受付シミュレーション

磨屋地区連合自治会の皆様を避難者に見立て、感染対策を講じた受付方法を検証します。

10：00～11：30 避難所運営の体験、「健康管理支援システム」の体験等

参加者：磨屋地区連合自治会、県・市の防災危機管理担当部署、災害支援関係団体等

感染対策物品の展示、日本赤十字社の避難所貸与物品展示、段ボールベッド組立実演、ハイブリッド・電気自動車（三菱自動車、日産自動車）紹介他

12：30～13：30 意見交換会

感染対策についての講義とともに、午前の体験会を踏まえ、感染対策と効率的な避難所運営に関するグループワークを行います。

講師 賀来満夫氏 東北大学大学院医学系研究科名誉教授
森本浩之輔氏 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野准教授

「健康管理支援システム実証試験」概要

12：00～16：00

避難所でも利用可能な「健康管理支援システム実証試験」

東京大学とサイントル(株)により開発している、人体に貼付する生体センサなどの技術により避難者や避難所のスタッフ、また遠隔の場所でサポートする方に各種生体情報や活動情報をモニタリングするシステムの実証試験を行います。

「シンポジウム」災害レジリエンス地域を目指して！

～防災危機管理から最先端技術による災害時避難所生活支援に至るまで～

14：00～16：00

長崎市に産学官・医療・介護等の幅広い英知に結集していただき、“徹底した感染対策の下で、防災危機管理から最先端技術による避難生活支援に至るまでを視野”に、コロナ禍における災害時に如何に効率よく・効果的な避難所運営が可能か、また避難所支援に有用な機器やシステムはどのようなものが求められるか等を共に考えます。

シンポジスト 山口典昭氏 長崎市危機管理監
松坂誠應氏 長崎災害リハビリテーション推進協議会代表
染谷隆夫氏 東京大学工学系研究科教授
中尾彰宏氏 東京大学工学系研究科教授
座長 栗原正紀氏 日本災害リハビリテーション支援協会代表

以上